

男女共同参画ワーキング会議

「福津市男女共同参画ワーキング会議」は、テーマを定めて市民から参加者を募り、集まったメンバーで学習や交流を行う事業です。

今年度は、女性のための災害ハンドブックをつくろう！というテーマで募集しました。様々な年代や所属の方々が集まりワークショップ形式で4回連続の講座を実施しました。

「女性のための災害対応 ハンドブックをつくろう！」

◆日 時：10月23日（水）
11月 5日（火）
11月19日（火）
12月 3日（火）
10：00～12：00

◆内 容：

第1回 10月23日（水）
○オリエンテーション
第2回 11月 5日（火）
○グループワーク
～みんなで意見を出し合おう～

第3回 11月19日（火）
○グループワーク
～情報の優先順位を考えよう～

第4回 12月 3日（火）
○まとめ
～私たちの災害対策ハンドブック～

◆会 場：市役所本館2階大会議室

◆企画・運営・講師
合同会社あっと・こみゆにてい代表
宮木裕子さん（危機管理士）

◆参加者：のべ42名

この会議の講師は、合同会社あっと・こみゆにてい代表の宮木裕子さんと、『女性のための災害ハンドブック』の監修も担当されています。

全4回の会議を通じて、メンバー同士の距離も縮まり、和気あいあいとした雰囲気の中で活発な意見交換が行われました。

メンバー構成は、男性、主婦、防災士、女性消防班、郷づくりに係わる方、子育て中のママなど、多様な立場の方々が構成され、それぞれの経験や視点を活かしながら、防災に関する情報や、役立つ知識を議論しました。

実際に、非常用持ち出しリュックを準備して検討したり、避難所のキャッチフレーズを考えたり、公衆電話のかけ方を掲載したいという意見を反映するなど、具体的なアイデアが形になっています。

完成したハンドブックには、女性の視点に立った災害時に必要な情報はもちろん、日ごろから出来る備えや、避難生活で役立つ知識など、幅広い情報を掲載しています。

例えば、非常用持ち出しリュックに入れるべきアイテム、避難所での過ごし方、女性特有の健康対策、性犯罪対策など、いざという時に役立つ情報が満載です。

ハンドブックは、毎日新聞、西日本新聞で紹介されました。また完成後、作成メンバーで団体を立ち上げられ、ハンドブックの啓発活動に日々尽力されています。

